



御庄小だより

令和8年6月号
岩国市立御庄小学校



子どもの「学びと成長」を地域とともに育む御庄小学校 ～「やまぐちPRIDE編」～

昨年の学校だよりで、私たちの社会生活は、個人の幸福だけでなく、社会全体が豊かで幸せになるための重要な要素として、「持続可能な社会」や「ウェルビーイング」など今後の社会生活の在り方が注目されていることを紹介させていただきました。

山口県教育委員会では、現在、県内の各学校を中心として『やまぐちPRIDE』の推進を提唱しています。県教委では、「コミュニティ・スクール」の推進から児童・生徒の「学びと成長」を育むために、すべての学校で、地域の特色を取り入れながら、地域のネットワークを生かし、より多くの地域住民や保護者の参画による教育支援活動を展開し、子どもの豊かな「学び・体験」に繋げる取組を推奨しています。本校でも、地域・保護者の方々の思いや願いに触れる機会により、子どもたちの心に『やまぐちPRIDE』の魂が宿り、「ふるさとを思う心（郷土愛）」が育まれることを願っています。このことは、キャリア教育の「自己実現力」や「社会参画力」、「人間関係形成力」といった、将来、複雑な社会を豊かに生き抜く力となります。御庄っ子の「学びと成長」が、ふるさと「御庄」の明るい未来に繋がることを願っています。



5年生『自然教室』・ 6年生『錦川連合修学旅行』 最高の思い出！！

5月末、5年生は、大自然に恵まれた「由宇ふれあいパーク」で自然教室を行いました。6年生は、錦川連合小学校修学旅行で、歴史の街「萩市」、鍾乳洞で有名な美祢市秋芳洞、下関市赤間神宮、下関市水族館「海響館」などへ行きました。子どもたちにとって最高の思い出や感動体験は、一生の宝物であるとともに、将来の人生に必要な活力や創造力、行動力が育まれ、心豊かな成長につながると思います。



「ふれあいパーク展望台」



「野外炊事でカレーづくり」



「萩市・松蔭神社」



「下関市・海響館」

「食品ロスを減らす工夫を学びました」～岩国市PTA 連合会オンライン研修講座に参加して～

5月22日、岩国市PTA 連合会研修会がオンラインで行われました。テーマは「もうムダにしない！食品ロスが減らせる冷蔵庫の使い方食品保存法」、講師は島本美由紀様です。食品ロスは日本だけでなく世界規模の環境問題ですが、物価上昇が続く今、冷蔵庫の整理や正しい保存方法を実践することで、年間に6万円ほど家計の節約につながる場合もあるそうです。研修では、冷蔵庫に余裕をもたせて収納することや、野菜は表面の水分から傷みやすいため、ペーパーや新聞紙に包んで保存すると約2週間鮮度を保てることなどを学びました。また、丸ごと冷凍保存すると約3カ月保存可能な野菜もあるそうです。少し手間をかけることで食品ロスを減らし、家計の助けにもなることを知り、ぜひ実践してみたいと思いました。とても有意義な研修会となりました。(御庄小 PTA 研修部)